

今秋大会計画並びに報告者公募

(宿題委員会)

来る一九五八年度大会は総会での相談にもとづき次の如く決定しました。皆手賀鳴子温泉にある「温泉の家」において、九月下旬ないし十月上旬(温泉宿で同所があつてゐる時明)に、二泊二日合宿して行う。但し、一日目は、温泉後に全員到着ということになると思われるから、その晩一泊して、翌日の丸一日を研究発表と討議にあてるのも一案。判着早々やる場合は午後の数時間のみを、これに加えて一日半となる。但し第二日目はおそらくなるからもう一泊して翌朝引上げるという計画である。

共同課題「村落共同体」

今度は自由課題を別に組まない。

右の共同課題を取上げた目的は、先に年報「村落共同体の構造分析」を出したが、それは大会での発表及び討議を行つた結果ではなかつたから、今度は大会で、この問題を追求することにより、なお多義的であいまいなとの概念を明らかにするにある。

但し、村落共同体の概念だけを抽象的に扱うこととは行わないで、現實の共同体の実証的な徹底の中では、そのこれまで、或はのこりかたの分析を通じて、村落共同体とは何かといふ問題を考えることにする。

以上の計画にとづき、共同課題についての研究報告者を公募致します。何卒、ふるつて御申込み給りますよう。申込み〆切りは五月末まで。東京都文京区大塚三丁目、東京教

育大学文学部社会学研究室会員、村研究会委員会宛のこと。発表題目はさしあたり仮題にても支障ありません。一と二行、調査対象地城名等発表内容に關するメモを付して下さることができれば幸甚です。